



会議のトピックス(II)

ND2013 核データ国際会議報告

International Conference on
Nuclear Data for Science and Technology (ND2013)
March 4 – 8, 2013, New York, U.S.A.

(0)会議概要

日本原子力研究開発機構 中村詔司

nakamura.shoji@jaea.go.jp

国際会議“International Conference on Nuclear Data for Science and Technology”が、2013年3月4日(月)～8日(金)の日程で、米国ニューヨーク市、Sheraton New York Hotel & Towersにて開催された。

世界48国から約430名が出席者し、核データに関連する最新の研究成果を口頭発表約350件及びポスター発表約130件により発表した。出席者は、米国から100名以上、フランスから約50名、日本から約40名の参加があった。

会議場所のシェラトンニューヨークは、**図1**に示した7 Ave. 53th St.に位置しており、目の前に地下鉄入口があってJFK 空港から地下鉄E 番線に乗れば、1時間弱で到着することができる。ホテルから7 Ave.を南に数ブロック歩けばタイムズスクエア、北へ5分もあるけば、セントラルパークへ行くことができ、非常に便利である。周辺に観光地、美術館、博物館、そして劇場が多数ある。そのためであろうか、残念であるがエクスカーションは企画されなかった。更に、バンケットもなかった。

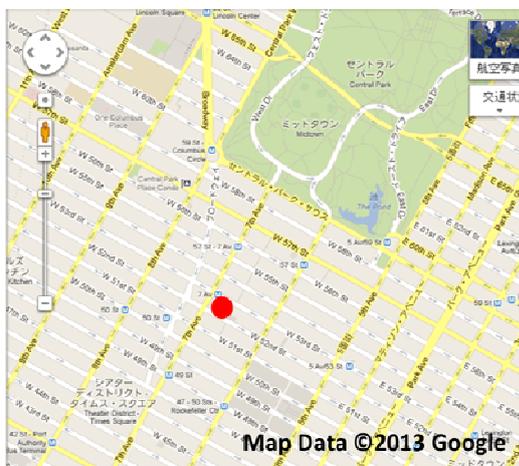


図1 シェラトンホテルの場所
(Map data ©2013 Google)

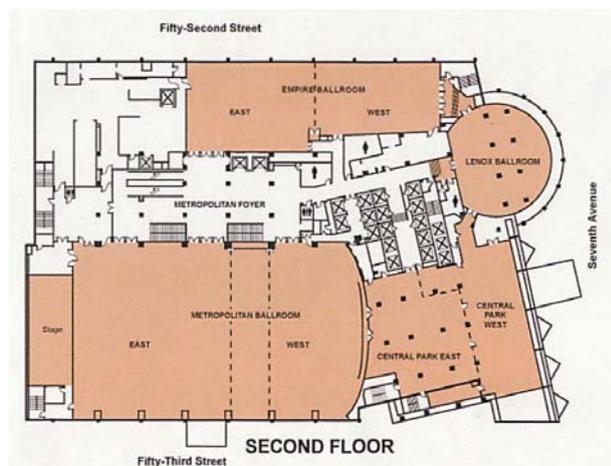


図2 会議場フロア
(ND2013 Program より抜粋)

会議会場は、**図 2**に示すように、ホテルの 2 階フロアの METROPOLITAN、CENTRAL、EMPIRE ROOM を、それぞれ仕切って EAST と WEST に 2 分して、6 会場にて発表が行われた。Metropolitan Ballroom (メトロポリタン ボールルーム) の EAST 側がメイン会場となり、初日の 4 日 (月) 8 時半頃より本国際会議の開催挨拶が行われた。会場の様子を、**図 3**に示してある。



図 3 開会挨拶の様子。2013 年 3 月 4 日 (月)、Metropolitan Ballroom EAST 会場にて (8 時 30 分頃、撮影)

本会議のトピックスは、以下のとおり多岐にわたり、会期中、朝 8 時半から午後 5 時半過ぎまで、発表がぎっしり詰まった内容の濃いものであった。

TOPICS:

| | |
|--|--|
| Nuclear reaction data | Nuclear structure and decay data |
| Delayed neutrons | Fission yields |
| Atomic masses | Experimental facilities and detection techniques |
| Nuclear data measurements and analysis | Nuclear theories, models and data evaluation |
| Uncertainty quantification and covariances | Uncertainty quantification and covariances |
| Nuclear data processing | Nuclear data adjustment |
| Validation of evaluated data | Integral experiments |
| Cross section and decay standards | Data dissemination and international collaboration |
| Nuclear Fission (75th anniversary) | Nuclear data for reactors |
| Nuclear decay heat | Dosimetry and shielding |
| Safeguards and security | Criticality safety |
| Homeland security and safety | Accelerator related applications |
| Fusion technology | Space, cosmic-rays, radiation effects on electronics |
| Astrophysics and cosmology | Medical and environmental applications |
| Nuclear physics education | |

次回の核データ国際会議の開催案内について

2013年3月8日（金）、朝の Session が終わった 10 時に、（参加者達の航空機での移動スケジュールを鑑みて）Close Session が急遽、前倒しで行われた。次回は、2016 年にベルギーでの開催が発表された（図 4 参照）。IRMM（Institute for Reference Materials and Measurements）が主催する予定である。

現時点での予定から開催場所について情報を調べてみたので追記する。場所は、ベルギーのブルッヘ:Brugge（仏語、Bruges:ブリュージュ）で、図 5 に地図を示したように、首都ブリュッセルから北西に約 100km、列車で 1 時間弱のロケーションである。30 分に 1 本の割合で、首都からブルッヘの直通列車がありますので、アクセスは便利だと思う。

フランドル地方の古都ブルーージュ（または、ブルッヘ）、名称の由来は「橋」であり、市内に張り巡らされた運河に無数にある橋に因んでいるとのことである。

会議予定の Sint-Janshospitaal は、ヨーロッパで保存されている最も古い病院施設の一つのようである。ブルッヘー帯は、歴史地区に指定されているようである（車での乗り入れは制限されるかもしれないので、レンタカーで行く場合は注意が必要かもしれません。事前に、ご確認を）。



図 4 ND2016 開催案内（ND2013 事務局の発表より抜粋）



図 5 ベルギーの地図（Map data ©2013 Google）
首都ブリュッセルとブルッヘの位置関係

会議開催予定場所を、図 6 に載せてある。

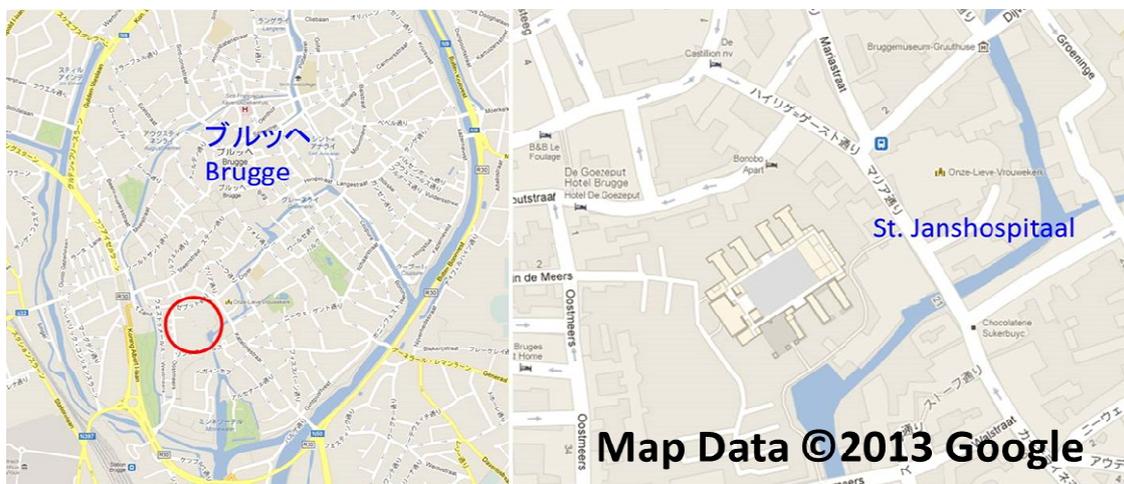


図 6 ブルッへの周辺地図。 会議予定場所の St. Janshospitaal の場所
(Map data ©2013 Google)

『屋根のない美術館』と称えられるブルージュは、中世の面影を残す街並み自体が美術館のような印象である。そのような中での国際会議は、とても楽しみです。会議後、議論の疲れを癒すのに、運河沿いを散策するのも良いかもしれません。

では、3年後の核データ国際会議への参加を目指して、成果を出して参りましょう！